

児童養護施設を舞台に繰り広げられる、 “個性的なバケツ”と“気弱な僕”の特別な日々。 笑いと涙があふれる、ハートフルな友情物語

養護施設で働くことになった神島(紘毅)は“バケツ”というあだ名の15歳の少年(徳永ゆうき)と出会う。バケツには軽度の知的障害と盗癖があり、母親から虐待を受け、拳銃の果てに捨てられ、さらには唯一の兄弟からも見放され、しまいには施設からも追い出されてしまう。神島は、先輩の黒田(岡本玲)の協力を得て、バケツを引き取り面倒をみることにするのだが……。



第20回講談社ノンフィクション賞を受賞した「無敵のハンディキャップ」(文春文庫刊)の著者・北島行徳の小説「バケツ」(文春文庫刊)の映画化。

養護施設で働くことになった気弱な主人公と、“バケツ”と呼ばれる軽度の知的障害を持つ15歳の少年との友情を笑いと涙を交えて描くハートフルな人間ドラマだ。

主人公の神島役には、前川清の長男でシンガーソングライターの紘毅、本作主題歌の作詞作曲も手掛けている。最近では劇団☆新感線の舞台「Vamp Bamboo Burn〜ヴァン・バン・バーン」(宮藤官九郎作)に出演するなど

役者としても活躍している。バケツ役には、原作者から「バケツのイメージにそっくり」と太鼓判を押された演歌歌手で鉄道マニアでもある徳永ゆうきが抜擢された。最近では、山田洋次監督の『家族はつらいよ』にも出演しており、役者としての活動の場も広がっている。最新作『妻よ薔薇のように 家族はつらいよIII』(18.5.25)の公開も決定している。また、バケツが密かに想いを寄せる神島の先輩・黒田には『赤い糸』(08)、NHK連続テレビ小説『純と愛』(12)、『わろてんか』(17)の岡本玲。バケツの姉・美由紀を『NIGHT HEAD』(94)の竹島由夏が演じ、その他、杉田かおる、ダチョウ倶楽部の肥後克広、寺門ジモン、上島竜兵らが

出演。そして、監督は、これまでに小林政広監督(『海辺のリア』)や本木克英監督(『超高速! 参勤交代 リターンズ』)などの助監督を務め、本作で映画監督デビューとなる石田和彦。虐待や孤児、ネグレクトといった社会問題をリアルに映し出す一方で、健全者と障害者の垣根を越えた絆や友情を純粋な視点で捉えた本作は、浜松を舞台に、たくさんの自然と地元民の人情味があふれる爽やかで感動的なパティムービーが、ここに誕生した。

バケツと僕!

紘毅、徳永ゆうき

岡本玲、竹島由夏、ダチョウ倶楽部、杉田かおる

監督:石田和彦 原作:北島行徳「バケツ」(文春文庫刊) エグゼクティブプロデューサー:柿崎ゆうじ
企画・プロデューサー:竹山昌利 プロデューサー:古谷謙一 脚本:北島行徳・山田耕大・石田和彦・竹山昌利
製作:映画「バケツと僕」製作委員会 制作プロダクション:カートエンターテイメント 配給:彩プロ
後援:浜松市教育委員会/公益財団法人 日本ダウン症協会/一般社団法人 日本自閉症協会/社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会
全国手をつなぐ育成会連合会/全国精神障害者地域生活支援協議会
助成:文化庁文化芸術振興費補助金 (17)年少者映画審議会推薦
2017/日本/ビスタサイズ/106分/5.1ch ©映画「バケツと僕」製作委員会
www.baketsu.ayapro.ne.jp

バリアフリー字幕 & 音声ガイド(UDCast) 上映あり。
詳しくは公式HPにてご確認ください。

(ユニット結成)
ゆうきひろき
「白い雲のように」
(主題歌)
「虹色のファンタジー」
収録
2/28 CD発売



3月3日 土曜 強い絆のロードショー

特別鑑賞券 ¥1,500(税込) 絶賛発売中! 当日一般 ¥1,800(税込) のところ

JR新宿駅東南口階段下ル / 甲州街道沿トコモショップ左入ル
新宿 K's cinema
03-3352-2471 www.ks-cinema.com
各回入替・整理券制